

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい……
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2471-48

電話・FAX 045-410-7307

E-mail: mail@zenryouji.jp <http://www.zenryouji.jp>

発行責任 善了寺 還る家ともに 3月担当：溝口

桃の節句は…



だんだんと暖かい日が見られるようになり、暦の上ではもう春が来ています。

今月は桃の節句も近い、という事で、お内裏様と、お雛様になりきってもらいました。

ひな人形は平安装束なので、本当はちょっと違うのですが…それはさておき、水干(すいかん)と、直垂(ひたたれ)という装束を着て写真撮影をさせていただきました。

みなさん、よくお似合いですよ♪



味噌を仕込みました！



例年に比べ、今年は少し遅くなってしまいましたが、今年も味噌仕込みを行いました。

まずは写真左のように、煮た豆を豆挽きでつぶしました。挽き手は南さん、力強くハンドルを回してくれました。

さて次は塩と糶(こうじ)を混ぜたものを引いた豆と一緒にして丸め(写真左下)そして丸めたものを「コンチクショー！」の掛け声とともに味噌の桶の中に力いっぱい投げいれました。(写真右)それにしても、なぜコンチクショーだったのか…。後半は「美味くなあれ」といい改め、みなさんとにぎやかに仕込みました。

そして無事、金山時味噌ならぬ、“善了寺味噌”の仕込みを終えることができました。

果たして今年の味噌はどんな出来栄えになるのでしょうか？



行ってきました！！



近隣の公園へ梅見に行ってきました。

青空の下、白やピンクの可憐な花がキレイに咲いておりました。駐車場から梅林までは結構な距離があり、みなさん頑張って歩きました。

梅の花を見ると、どうしても梅干作りを連想してしまい、今年は梅の実がどれくらいとれるかソワソワしてしまう私(溝口)なのでした…。



新入職員の紹介です

このたび新しく入りました、石井麻美と申します。このたびご縁あって「還る家ともに」にて働くことになりました！介護の現場は初めてなので、何から何まで教えていただくことばかりかと思いますが（長い目で見てください）、一日も早く仕事を覚えて、みなさんの思いに添えるようになりたいと思います。よろしくお願いいたします。

古いモノから新しい暮らしを発見する情報マガジン

善了寺では、新しく“茶堂(ちゃどう)”というインターネットのページを作成しました。デイの日常についても茶堂ホームページ内、還る家ともにの所に掲載されています。是非ご覧ください。「善了寺 茶堂」で検索するとできます。



古いモノから新しい暮らしを発見する情報マガジン

編集後記

門徒さんで、お寺のデイサービスに、通っておられた方がお亡くなりになりました。お元気な時は、お孫さんの子守りでお寺の境内を散歩されておられましたが、90才を越えて、お寺のデイサービスに來られて、喜んでくれています。スタッフも、働きながら介護されている娘さまの少しでも助けになりたいとの強い思いもありました。門徒さんが、年を重ねてお寺に通えなくなってもお寺のデイサービスに來ていただき、スタッフやボランティアの門徒さん達と、最期をともにすごし、思い出のたくさん詰まったお通夜とお葬式をさせていただく。地理的条件や様々なご縁により、通っていただける方は限られていますが、これからも、大切なお寺の役割として考えて参りたいと改めて痛感させていただきました。

ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。事業所移転後もご利用者の皆さまと心地よく過ごすことができています。どうぞよろしくお願いいたします。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 中嶋芳江 | 中嶋功 | 安藤信子 | 竹中秀子 |
| 山下トキエ | 西岡美都里 | 朝倉好子 | |
| 別府与志子 | 濱崎芳子 | 市野和歌子 | |
| 弓削福子 | 矢口和子 | 秦野雅子 | 米村正男 |
| 江田峯子 | 中島雄子 | 村井ヒテ子 | 江尻伸子 |
| 牛島寛子 | 橋本淑子 | 長澤チヨ子 | 犬塚照夫 |
| 松村節子 | 秦野宣子 | 梅本忠男 | 小林ミエ |
| 松田良子 | 森谷ミヨシ | 山田ヒロ子 | 穴山よしお |
| 乾隆子 | 内田佐知子 | 砂川元枝 | 長岡綾子 |
| 吉高友子 | 諏訪邦満 | | |